

杉並区議会議員

無所属みどり派 公正・平和・環境

166-0003 杉並区高円寺南 3-62-10 小鈴荘

電話 / FAX: 03-3315-2155 (留守電付)

e-mai: okuyama@suginami-kugikai.jp

ホームページ: 「奥山たえこ」で検索

郵便振替: 00180-9-52809

名義: 「奥山たえこと杉並を耕す会」

みんないきいき 奥山たえこ
助けあいたい みどりのまちで

奥山たえこの 区政と暮らし通信 18



敗訴と接続は無関係です — なのに 住基ネット 来年から 全員接続へ

今回新聞等で報道のとおり、杉並区が国と都を相手に訴えた裁判が最高裁でも負けました(7月8日決定)。7月24日の総務財政委員会では報告があり、質問しました。

①不参加ではなく、参加を求めた杉並裁判。

区の訴えは、住基ネットへの参加を前提にした上で、「段階的参加方式」を認めろというもの。つまり都へのデータ送信を、一度に全員ではなく、「非接続希望」者の分を後に送るということにすぎません。

マスコミは「選択制」を求めたと報道しますが、それだと、希望者はずっと接続なくて済むのだと誤解しないでしょうか。

②こてんぱんに負けた。

杉並訴訟と異なり住民側が住基ネットへのデータ提供差止めを求めた各地の訴訟では、敗訴であってもプライバシーの自己情報コントロール権を認める等、それなりのものが時折り出ています。ところが杉並区訴訟では「法律があるのだから、それに従

えばよい」(高裁)など、まったくいいところなしです。

③地方分権なんて嘘っぱち

区にとって辛いのは、接続の是非を巡って、国都と争う仕組みがないことです。都は「違法だ」と口では言いながら、係争に持込める「是正要求」を最後まで出しませんでした。「地方分権、道州制」を言いながら、結局国都の方針に従わせるのです。

④区民の利便性は、ほとんどない。

区民の利便を損なっていないか、年金の現況届の葉書の返送の必要があるのでは、その手続きの問合せや、50円切手もつたいないという声はあるものの、多くの方は納得してくれるそうです。

税金申告のe-taxでは5千円の還付制度を使えない!とのクレームはあるが、その利用方法が実は煩雑で費用も同じくらいかかることを理解しているかどうかについては、たぶんそうでしょうとのこと。

住基カードが全国的にまったく

普及していないため、総務省はさまざまな相乗り機能を考えるなど工夫していますが、効果はさっぱりです。

⑤裁判費用5800万円は何だったのか。

提訴時に区は、負けても勝っても、何らかの義務が生じるものではないと答弁していました。ところが、今回早々に「全員接続」を発表。訴因から見ても、敗訴と接続に必然性はありません。今まで通り、非接続を続けられただけです。これでは結局、裁判所に接続のおスミつきをもらうために、税金をたっぶり使って提訴したと言わざるを得ません。

裁判費用は弁護士費用等も含めて、全部で5800万円かかりました。

「住基ネットとは」「杉並区住基ネットの動き」 →

P 3 参照

住基ネットに関しては、

「やぶれっ! 住基ネット情報ファイル」のサイトが詳しいです。

杉並に住み続けたい、だから・・・

「杉並に住み続けたい」。

アンケートによるとそんなお声が多い杉並区ですが、実は、区内でいろんな問題が起こっています。そして地域の方々は、杉並の住環境を守るため、まさに住み続けるために運動をしています。その一端をご紹介します。

※ここに挙げた他にもいろんな問題があります。

外環 (東京外郭環状道路)

地下 40m の大深度に直径 16m のトンネルを 2 本作り、そこに道路を通す計画。基本計画決定され、建設へと 1 コマ進んでいる。

しかし国と都に提出した区長の要望書にはいまだ意味ある回答が来ていないし、地下水脈切断の懸念は全くぬぐえていない。

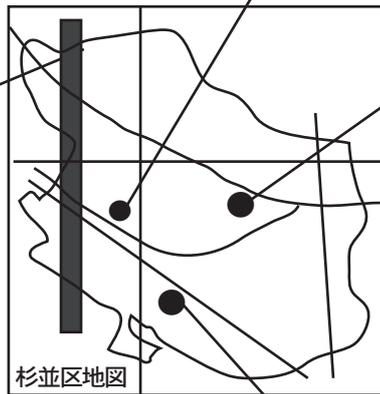
各地域の課題を話合う、総勢 99 人の「地域 P I」の第 1 回は、7 月 26 日 (土) 1:30 ~、於区役所。

宮前 2 丁目区画街路 1 号

住民悲願の東西道路。15 度傾斜の道路 (脇のマンション住民は眼前に道路擁壁が出現!) を通すのに、周辺住民とで 10 回の「考える会」を開催し、緊急時車両のみ通すと決定。ところが、区は「ミスリード」だったと決定を翻し、常時通行可にすると発表。住民の反対を顧みず、今年度の工事準備を進めている。

阿佐ヶ谷住宅建替

区役所前の青梅街道を横切り坂を下ると、赤いタン屋根がゆったりと広がる築 50 年の住宅空間がある。だが建替え案は、公開空地を提供する代わりに高さ規制を倍の 6 階に緩和するというもの。周辺住民の根強い反対にもかかわらず、建設ゴーサインの一步手前まで来ている。



三井グランド環境訴訟

高井戸東の広大な三井グランドは 23 区に残る貴重な緑。ところが、三井は 6 階建てマンション数棟と戸別住宅の計画を発表。避難場所面積の減少を懸念する区民の声に、区は「都の仕事」だと、取り合わない。住民は、開発計画の手続きにごまかしがあると 2006 年 5 月提訴するも、訴えの利益なしと 08 年 5 月却下。住民は控訴。詳細は「三井グランドと森を守る会」のサイトまで。

「活動日誌」(抄) ブログで公表中

- 7/20 (日): 暮らし通信作成
- 7/19 (土): 善福寺川緑地訪問
- 7/18 (金): 地域 P I 準備会傍聴@西荻窪
- 7/17 (木): 男女共同参画計画進捗検討会傍聴、師範館にて情報公開資料閲覧
- 7/16 (水): 総務財政委員会
- 7/15 (火): 減税自治体研究会傍聴
- 7/14 (月): いんくるーしふ杉並定例会@荻窪、路上訪問
- 7/13 (日): 支援費鈴木訴訟学習会@中野
- 7/11 (金): 住基ネット質問準備、映画「シッコ」。
- 7/10 (木): 湯浅誠講演会 (貧困と生活保護) @中野

- 7/9 (水): たばこ自販機調査
- 7/4 (金): むさしの協議会学習会 (都市と緑) @吉祥寺
- 7/2 (水): 23 区民自治の会学習会 (指定管理者)
- 7/1 (火): まちづくり条例見直し検討会、民間委託モニタリング委員会傍聴
- 6/29 (日): 学習会予習
- 6/28 (土): 「ごみ有料化その後」@国分寺
- 6/27 (金): 全員協議会、本会議最終日
- 6/26 (木): 道路交通対策特別委員会
- 6/25 (水): 集会 (7/24) 準備
- 6/24 (火): 総務財政委員会
- 6/23 (月): 地域 P I 準備会傍聴@西荻窪
- 6/21 (土): 委員会質問準備
- 6/20 (金): 議案調査

- 6/19 (木): 質問ヒアリング
- 6/18 (水): 委員会傍聴、議案調査
- 6/17 (火): 本会議
- 6/16 (月): 本会議
- 6/15 (日): 一般質問準備
- 6/14 (土): 第二定例会本会議初日、外環問題情報聴取
- 6/13 (金): 特別委員会報告作成
- 6/12 (木): 質問リアリィング
- 6/11 (水): オリンピックはいらない ネット街宣@阿佐ヶ谷
- 6/10 (火): 一般質問準備
- 6/9 (月): いんくるーしふ杉並定例会@荻窪
- 6/7 (土): 地域医療問題学習会参加 (医療材料供給)
- 6/4 (水): 杉教祖定期総会臨席
- 6/3 (火): 都市計画審議会出席

住基ネットの次は **社会保障番号**

社会保障カード

安倍首相が提唱

昨年辞任した安倍晋三首相は在任中、「消えた年金」対策と称して、「社会保障番号」構想を打ち上げました。共通の番号があれば、住所や名字が変わっても見失わないということのようです。でも、年金には「年金基礎番号」がとっくにあります。要は、預かった年金をきちんと管理すればよいだけの話。両者は無関係。これでは焼け太りです。

安倍さんが辞めた後、「社会保障カード(仮称)の在り方に関する検討会」が発足。この1月に報告書が出された。現在も着々と作業部会が進行中。

社会保障カードとは

年金と、国民健康保険、介護保険証を一枚にしたカード。3つの制度を結びつけるキーとして、番号を使う予定。住基ネットは、外国人は入っていないが、社会保障は入る人もいる。まさに住基ネットをはるかに凌ぐ総背番号制。

あまりに評判が悪いので研究会では、「番号」はよして、いつの間にか「カード」の話にシフト。さらに住基カードをこの用途に使おうとまで言い出している。

現実、かえって不便になることが明白で、ここでは書き尽くせないほど、要注意!です。

続報します。

杉並区住基ネットの動き

- 2002年8月1日:住基ネット不参加を表明
- 2003年6月4日:横浜方式=区民選択方式で参加表明
- 10月20日:区民全員に住基コード通知表を発送
- 2004年8月24日:東京地裁に提訴
- 2006年3月24日:地裁判決(訴え却下、請求棄却)
- 2007年11月29日:高裁判決(控訴棄却)
- 2008年7月8日:最高裁決定(上告棄却)

住基ネットとは

正式には、住民基本台帳システムネットワーク。市区町村が管理している、住民の氏名、住所、生年月日、性別の「本人確認4情報」に、住基コード番号をつけたデータを、都道府県のコンピュータに送信、さらに地方自治情報センター(LASDEC。総務省の外郭団体)のコンピュータに集約、一元管理する仕組み。

これまで住民票を提出することで本人確認していた事務(例:パスポート取得)において、添付を省略できるなど、住民の利便があると総務省は説明する。

住基コード番号は、他の人とは重複しない番号(国民総背番号制)なので、この番号にデータを集約する(データマッチング)ことで、個人の情報データベースを作ることが可能になる。

全国の自治体をネットでつなぐ仕組みなので、どこかのセキュリティが甘いと、そこからデータ漏洩が可能となる。自宅持帰り作業の全住民データが、ファイル交換ソフトによりインターネット上に流れた例もある。

「活動日誌」(抄) ブログで公表中

- 7/20(日):暮らし通信作成
- 7/19(土):善福寺川緑地訪問
- 7/18(金):地域PI準備会傍聴@西荻窪
- 7/17(木):男女共同参画計画進捗検討会傍聴、師範館にて情報公開資料閲覧
- 7/16(水):総務財政委員会
- 7/15(火):減税自治体研究会傍聴
- 7/14(月):いんくるーしぶ杉並定例会@荻窪、路上訪問
- 7/13(日):支援費鈴木訴訟学習会@中野
- 7/11(金):住基ネット質問準備、映画「シッコ」。
- 7/10(木):湯浅誠講演会(貧困と生活保護)@中野

- 7/9(水):たばこ自販機調査
- 7/4(金):むさしの協議会学習会(都市と緑)@吉祥寺
- 7/2(水):23区民自治の会学習会(指定管理者)
- 7/1(火):まちづくり条例見直し検討会、民間委託モニタリング委員会傍聴
- 6/29(日):学習会予習
- 6/28(土):「ごみ有料化その後」@国分寺
- 6/27(金):全員協議会、本会議最終日
- 6/26(木):道路交通対策特別委員会
- 6/25(水):集会(7/24)準備
- 6/24(火):総務財政委員会
- 6/23(月):地域PI準備会傍聴@西荻窪
- 6/21(土):委員会質問準備
- 6/20(金):議案調査

- 6/19(木):質問ヒアリング
- 6/18(水):委員会傍聴、議案調査
- 6/17(火):本会議
- 6/16(月):本会議
- 6/15(日):一般質問準備
- 6/14(土):第二定例会本会議初日、外環問題情報聴取
- 6/13(金):特別委員会報告作成
- 6/12(木):質問ヒアリング
- 6/11(水):オリンピックはいらない ネット街宣@阿佐ヶ谷
- 6/10(火):一般質問準備
- 6/9(月):いんくるーしぶ杉並定例会@荻窪
- 6/7(土):地域医療問題学習会参加(医療材料供給)
- 6/4(水):杉教祖定期総会臨席
- 6/3(火):都市計画審議会出席

学習会: 有料化でほんとにごみが減るの?

7月24日(木)午後6:30～ 産業商工会館(阿佐ヶ谷) 熊本一規さん

杉並区では、来年2009年秋から戸別回収開始予定です。現在も、集積場のトラブルが絶えず、「戸別収集歓迎」のお声を聞きます。でもそのためには倍近い人員の確保が必要になります。区はそれを派遣などで埋めると考えていますが、それでよいのでしょうか。その後ごみ有料化を導入予定です。

区は、日野市を例に「有料化すればごみが減るのだ!」と言いますが、実はそれにはからくりがあります。しかも、有料化すれば、ごみ袋作成の費用や不法投棄など新たな問題が発生します。"不都合な真実"を学びましょう。

お知らせ

区で進行中の条例など

条例の策定や、見直し等、議会に提案される前に、区ではいろんな検討を行なっています(大部分は傍聴できます)。その一端をご案内します。

●教育基本条例:

改悪教育基本法の杉並版ともいえるもの。

昨年度の制定の予定だったが、議会からも反対の声が強く、上程されていない。しかし、区長は今年度の制定をめざしている。

●補助金適正化審査会:

3年前に続き、2005年以後の補助金が適正かどうか全ての補助金を検証するもの。一つひとつを取上げて、かなり辛辣な審査をやっている。

奥山が傍聴した折り、師範館への補助金が対象に入っていなかったのが質したところ、次の回に加えていました。指摘しなければ、ほおっかむり?

●減税自治体構想:

区長の目玉政策。歳入の1割を積立てて運用、将来住民税を減税するというもの。7月15日の第3回研究会では、減税は可能との認識が示され、10月に報告書を作成する。区長の言うとおりに、ホントに78年後、住民税がゼロになるのでしょうか。

今年度の奥山の役職

委員長になりました!

- ◆総務財政委員会、道路交通対策特別委員会委員長
- ◆都市計画審議会、個人情報保護審議会
- ◆議会改革部会



会場入り口の標識前にて
「global GREENS」マスコットはカエル。
Sao Paulo Brazil 2008

グローバルグリーンズ 第2回 緑の党世界大会に参加

2008年5月1日～4日 ブラジルサンパウロにて

ヨーロッパ、北欧などには、環境や人権、平和などを政策とする「緑の党」があります。経済成長を求めない点で既存政党と大きく異なり、単なる環境政党ではありません。

日本にもつくろうという動きがあって、奥山もその一員です。今回、仲間たちと大会に参加し、報告書も作りました(頒価千円)。

●7月25日(午後6時半。阿佐ヶ谷産業商工会館)

報告会を開きます。区政報告も行ないます。
すぐろ奈緒区議と一緒にに行ないます。

学習会のご案内は、同封別紙参照